

環境現地調査の候補地点（案）（深さ 10～25m 程度の地下水位調査）



東名高速周辺エリア

武蔵野台地から流れてくる浅層地下水は、国分寺崖線からの湧水あるいは地下水として野川の流水と関連していると想定され、東名道との連結部では開削工事の可能性があります。

このため、開削に伴う地下水の方向、流れなどを解析するため、国分寺崖線、野川及び野川右岸を網羅した範囲を地下水の解析エリアとして考えています。

野川をはさんでメッシュ状に地下水観測位置を配置しました。

- 成城北広場、明正公園、おっこし記念公園、谷戸橋公園、世田谷区区道、成城排水調整所、次大夫堀公園、はなもも児童遊園、イルカ児童遊園、滝下橋緑道、キタミクリーンファーム、喜多見小学校

中央道周辺エリア

浅層地下水の流れは概ね北西から南東と想定され、中央道との連結部では開削工事の可能性があります。このため、開削に伴う地下水の方向、流れなどを解析するため、神田川低地から入間川間を地下水の解析エリアとして考えています。

武蔵野台地から仙川低地、入間川低地への地下水の流れ及び玉川上水との地下水の関連を把握するため、メッシュ状に地下水観測位置を配置しました。

- 東つつじヶ丘二丁目緑地、中原すすく児童遊園、北野公園、北野南ゲートボール場、緑ヶ丘小学校、ひばり野児童公園、牟礼下本宿児童遊園、もぐら公園、井の頭上水こみち児童遊園、三鷹台やすらぎ児童遊園、新川ふじみ児童遊園、緑ヶ丘第二仲よし広場、仙川河川敷き

青梅街道周辺エリア

浅層地下水の流れは概ね西から東と想定され、インターチェンジの可能性がある青梅街道との交差点部では開削工事の可能性があります。このため、開削に伴う地下水の方向、流れなどを解析するため、石神井川低地から神田川低地間を地下水の解析エリアとして考えています。

武蔵野台地から善福寺低地、井草川低地、神田川低地への地下水の流れを把握するため、メッシュ状に地下水観測位置を配置しました。

- 吉祥寺東緑地、桃井第四小学校、日の出児童遊園、上石千川児童遊園、三谷公園、上石神井東公園、市有地（神田川沿い）、善福寺公園（上池、下池）、井萩公園

関越道周辺エリア

浅層地下水の流れは概ね西から南東と想定され、関越道との連結部では開削工事の可能性があります。このため、開削に伴う地下水の方向、流れなどを解析するため、白子川低地から石神井川低地間を地下水の解析エリアとして考えています。

武蔵野台地から白子川低地の流れ及び八の釜湧水との関連を把握するため、メッシュ状に地下水観測位置を配置しました。

- 石神井台くすのき緑地、新緑の森児童遊園、石神井町八丁目児童遊園、泉こぶし公園、東大泉二丁目公園、つくしの児童遊園、三原緑地、東大泉公園、北大泉児童遊園

調査区分	地点数
●：深さ10～25m程度の地下水観測井戸	44